



久我山ハートクリニック 院長

今村 泰崇

「目の前で倒れている人がいたら助けられる人になりたい」――

それが今村院長の医者としての原点となる思いだ。

その目標を叶えるため、医療の世界に入り懸命に研鑽を積み、
自身の理想の診療を行えるクリニックをつくり上げた。

大学病院や総合病院並の設備や環境を完備するのは簡単ではない。

地域住民の健康に貢献したいという覚悟の強さが窺える。

自身の診療を通して、地域の健康寿命の延伸への貢献とその伝播を目指す院長。

医療従事者の鑑とも言える姿をそこに見た。

(対談記事は 38 ～ 39 頁に掲載)

「『目の前の人を助ける』という気持ちで、
地域の皆さんを幸せにしていきたい」

助



院長

今村 泰崇

【今村院長の足跡】東京都西東京市出身。高校時代に医者を目指し、医学部へ進学する。卒業後、循環器内科の世界に入り、大学病院をはじめとした様々な病院で専門性の高い研究や治療に携わった。2025年に「久我山ハートクリニック」を開院し、積み上げた技術と経験を活かして病気の早期発見・予防から総合病院への連携・術後フォローまで行っている。

充実した安心のサポート体制で 心疾患の幅広いお悩みに寄り添う

心臓・血管など循環器に関する悩みに寄り添う「久我山ハートクリニック」。大学病院での研究や治療など高度医療に携わった実績を持つ今村院長は、大規模病院の外來診療と同レベルの診察が可能な設備を整えた同クリニックを開き、スピーディーな診断と治療で地域の患者の健康に寄与している。「地域の人々の長生きにつなげたい」と日々診療に励む院長に、タレントの市井紗耶香さんがインタビューを行った。

循環器内科医として研鑽を積み 理想の診療を提供するため開院

——早速ですが、今村院長が医者を目指したきっかけは何だったのでしょうか。

家族や親戚に医者がいるわけではなく、高校の時に友人が病気で亡くなった影響から「目の前の人を助けられる人になりたい」と、医者を目指し始めました。サラリーマンだった親にとって医者は未知の世界でしたし、不安は大きかったと思います。医学部を卒業後は臨床現場に立ち、大学病院では重症心不全の治療や研究を行いました。それから全国の病院で循環器内科医として豊富な経験を積んでいったんです。これまで、TAVIやマイトラクリップ、心筋症や肺高血圧症の治療、重症心不全への補助人工心臓、細胞シート移植、心臓移植など様々な治療を経験し、心筋梗塞へのカテーテル治療やペースメーカー治療、家族性高脂血症の研究や新規治療、フレイル・サルコペニアの研究も行ってきました。

——開業にはどういった経緯があったのでしょうか。

論文を書いたり、研究を行ったりしていましたが、自分がやりたいことは目の前にいる患者様に向き合っていくことだと気付いたんです。やはり患者様が元気になる笑顔を見せてくれたら嬉しいんですよ。病状が回復して幸せになる人を増やしたいという思いですね。

——お医者様の鑑ですね。

充実の設備環境で迅速な診療を実現 地域住民の健康への貢献を目指す

——改めて、『久我山ハートクリニック』さんの特徴を教えてください。

大学病院や総合病院に負けないくらいの設備が整ったクリニックで、血液検査から尿検査、心電図検査、24時間ホルター心電図、負荷心電図、超音波検査、レントゲン、ABI/PWV検査、睡眠時無呼吸症候群の精密検査まで、多彩な検査に対応しています。例えば、血液検査に

おいては大学病院なら当日に結果が出ますが、普通のクリニックだと数日はかかるんですね。患者様を思うとそれが心苦しくて、最新の設備を導入して心不全のBNPだけではなく、腎機能のCrやLDL等の脂質など基本的な項目は当日出るようにし、かつ総合病院でも通常1時間程度かかるところを15分程度まで時間も短縮しました。他にも、大学病院でしか使わないような高額な薬を取り揃えるなど、患者様が安心して診療をスピード感を持って実施できる環境を整えました。

——患者さんは一刻も早く自分の病状を知りたい、良くなりたいたいという思いで来院されるでしょうから、最新の環境を整えていけば安心ですね。

実際に状態が分かるデータを見ないと、どう対処すればいいのか、どのように薬を処方すればいいのかが分からないのです。迅速に判断できずに生まれてしまう、タイムラグを無くしたいんですよ。それに結果を待つ間に、患者様の不安は大きくなりますからね。外注をお願いしたほうが安いですが、改めて結果を聞きに来てもらったら再診料も入るかもしれませんが、それよりも患者様の安心のほうが大事です。

——そこまでする開業医の方ってなかなかいないのではないのでしょうか。本当に皆さんが求めていることだと思います。

小さなクリニックだからって諦めず、



KUGAYAMA HEART CL

COLUMN

検査から治療まで行う
地域のかかりつけ医

「生活習慣病を予防して、心疾患の予防に力を入れる」という今村院長の思いのもと、地域のかかりつけ医として地域住民の健康を日々サポートしている『久我山ハートクリニック』。手術が必要な場合は信頼できる近隣病院を紹介して、術前術後のフォローまで徹底して寄り添う安心の環境が整えられている。

心疾患や生活習慣病以外にも風邪やインフルエンザ、コロナウイルスなどの発熱外来にも対応し、他の患者とは完全別動線の院内陰圧個室にて検査や診療を行える、万全の体制も完備。また、アップルウォッチにて不整脈の通知等が来た方に対応する「アップルウォッチ外来」や、来院が難しい方に向けた「オンライン診療」なども行っている。他にもふらつきやめまいといった、受診科を迷う症状の場合も真摯に対応。院内で自費検診の人間ドックも受けられ、検査後の診療や治療は保険適用となり、そのまま治療や予防につながれる。ここまでの環境を整備したクリニックは珍しいのではないだろうか。地域医療を担う存在として、同クリニックは今後もますます存在感を増していくに違いない。



久我山ハートクリニック

Kugayama Heart Clinic

東京都杉並区久我山 4-1-7 1F

URL: <https://www.kugayama-heart.com/>

大きな病院に劣らない診療・治療を提供したかったんですよ。もちろん、詳しい検査が必要な場合は提携する近隣病院を迅速にご案内し、疾患の早期発見・治療に繋がっています。

——患者さんにとって、とても心強い存在になっているはずですよ。実際に開業されてみて、手応えはいかがですか。

自分の思いに沿った医療を提供できる環境があることが、とても嬉しいですね。当クリニックは風邪などの内科診療も行いますが、心臓疾患予防のための生活習慣病の予防・早期発見・治療を行います。また、心臓の持病を抱える方には心筋逸脱酵素などの測定や心エコー検査、必要に応じて関連病院にて冠動脈CTを行った上で的確に診断しています。そういった部分を信頼してくださり、迅速で幅広いサポートを求めている患者様が来てくださっています。期待に応えることができて嬉しいです。

——スピード感を持って患者さんを診療するにはスタッフさんとの連携が欠かせないかと思います。

自分一人の力ではできないということは重々分かっているのですが、スタッフの存在には助けられています。口を酸っぱくして伝えなくても、「こういう診療を提供したい、こんな病院でありたい」と話すと、共感してくれて自分たちからやりたいことを提案してくれます。とてもあ

りがたいですね。

——それだけスタッフさんと足並みが揃っているということですね。それでは最後に、今後の夢や目標について教えてください。

心疾患はなるべく早く、しっかりと治療することが大事です。そうすることで有病率が下がり、長生きに繋がります。長生きするだけが全てではないですが、元気に家族と過ごすことはとても有意義だと思います。この周辺地域から、その予防意識をどんどん広げていきたいです。稼ぎたい、楽をしたいという思いは全くなく、自分の理想の医療を提供するために始めました。引き続き、患者様に貢献できることをプラスの方向で考えて実現していくつもりです。

(取材／2025年10月)



ゲストインタビュー (タレント)
市井 紗耶香



先日、誕生した今村院長のお子様。開業と同じようなタイミングで生まれたそうで、「子どもとクリニック、両方とも大事に育て上げたいと思います」と、今後への想いを語った。

After the Interview

市井 紗耶香・談

「目の前で倒れている人を助けてあげられる人になりたい」と、立派な志を持って医者の方へ進んだ今村院長。現在もその思いは変わることなく、真摯に地域の患者さんに寄り添っておられることが伝わってきました。「何かあった時にすぐに助けてくれる人がいる」というのは、患者さんの安心に繋がります。院長は地域の皆さんにとって、そのような存在になっていくことでしょ